

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 山本 眞 輔
 幹事 吉田 玄
 会報委員長 池 森 由 幸

No. 31

率先しよう

LEAD THE WAY

2006~2007年度 RI会長 ウィリアム(ビル)B.ボイド

きょうの例会

第1173回 平成19年 3月20日(火)

職場例会 12:00~ 名古屋ポストン美術館

先週の記録

第1172回 平成19年 3月13日(火)

晴

◆“それでこそロータリー”

◆ゲスト紹介 桜花学園高等学校インターアクトクラブ
 顧問 河合 保昌 先生
 会長 滝本 笑 さん
 伊藤 千絵 さん
 池森由幸君ゲスト 山口 英治 様

◆出席報告

会員 59 (56) 名 出席 41名
 出席率 73.21 %
 前々回 2月27日(修正出席率) 91.07 %

吉田幹事報告

- 1) 本日例会終了後、理事役員会を開催いたしますので理事役員の方はそのままお残り下さい。
- 2) 次回例会は職場例会で12:00より全日空ホテルズ30階にてお食事後、13:00より名古屋ポストン美術館5階にて例会を開催いたしますのでお間違いの無い様御出席下さい。

山本会長挨拶

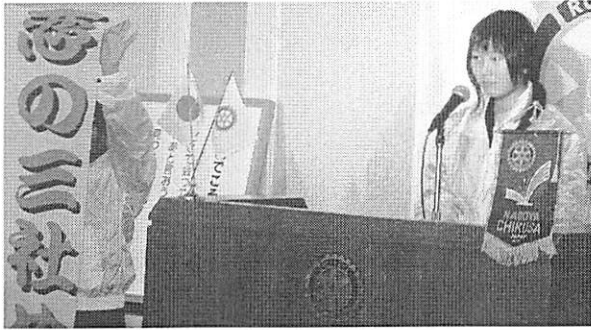
白木蓮が満開で、そこかしこでいい香りを届けてくれています。必ず桜の花の前に咲く義理堅い花です。寒さが又戻ってきたようですが皆さんお元気でしょうか？大相撲春場所も始まりましたが荒れる春場所の予言通り横綱朝青龍が2連敗のスタートです。本日のビジターは池森君紹介の山口英治様。ゲストは桜花学園高等学校インターアクトクラブ顧問河合保昌先生、会長 滝本 笑さん、伊藤千絵さんです。どうぞ時間の許すかぎりゆっくりにお過ごし下さい。さて本日は「青銅時代」という彫刻を紹介します。



これは「考える人」と並ぶロダンの代表作(1877年制作)で誰もが一度は見たことがあると言うくらい有名な彫刻作品です。世界で最も多くの複製が作られ全部で50体を越えるのではとされています。モデルは若い兵士オーギュスト・ネイト、原題は「傷ついた兵士」とつけられました。1879年に鑄造されたブロンズ像がパリのオルセー美術館に所蔵されています。それ以外の作品は1900年以後に鑄造されたものです。発表された当時あまりのリアルな表現であったため人体から型を取ったのではないかといわれました。勿論、彼の名譽は様々な理由により回復されましたがそれ以後の作品に大きな影響を与えました。その一つに作品のサイズがあります。人を作る場合、手と足を大きく、身体も実物よりもスケールアップというのが特徴となりました。リアルではあるが実際には存在しないサイズの人体を制作しました。人体から直接型とりをしていない事は誰が見てもわかります。これは作家の意地であり、それ以後の具象彫刻の大きな特徴にもなりました。実際にはあり得ない形を創ることによってよりそれらしい表現をする、ということです。「青銅時代」はそのきっかけとなったロダンの代表作といえます。「青銅時代」から30年後、一つの時代が終わりました。生き方の是非、毀誉褒貶について各々感慨はあると思いますが今日は一人の作家の生き様を紹介させて頂きました。

◆桜花学園高等学校インターアクトクラブ

会長 滝本 笑・副会長 伊藤 千絵



こんにちは。桜花学園IACです。今やったのは私達の活動の一部である手遊びで、ピカチュウというものです。今日は恋の三社巡りについて説明します。まず、恋の三社巡りとは、恋にまつわる3つの神社、高牟神社・清明神社・城山八幡宮をスタンプラリー形式で巡るウォーキングです。これは毎年恒例の桜花学園IACの主催の一大イベントです。この恋の三社巡りの目的は、参加者に神社を紹介すると共に、街の再発見を行ってもらふことと、恋をメインテーマにした事で若者にも神社について興味を持ってもらう事。また、神社関係者・地域の方々との交流を深める事です。毎年200人近くの方に参加してもらい「高校生がこのようなイベントを主催しているのは珍しく、内容が豊富で楽しい。」など、好評の言葉をよくもらいます。私たちは、事前の準備として各神社に行き神社について勉強したり、ピラを作ってピラ配りに行き呼び掛けをしています。この行事を通して、学校では学ぶことの出来ないたくさんのお話を学ぶことが出来ました。例えば、失敗して許してもらえない大人の社会の厳しさ・1つの行事を成功させるまでの苦労や責任感、そして、無事行事が終わった時の達成感などです。部員の皆が前にやった時よりもっと良いイベントにしよう！という気持ちで毎年取り組んでいます。一度やったミスはもうやらないように気をつけているので失敗も減ってきました。そのせいもあり、毎年徐々にスムーズに進むようになってきています。まだ始めたばかりのこの恋の三社巡り。これからどのような風になるのか、私達もとても楽しみです。そして、もっともっといろいろな地域の人々に広まっていったらいいな。と願っています。私達は恋の三社巡りというものにやり甲斐を感じています。

ロータリーの皆さん。これからの桜花学園IACの活動と、この恋の三社巡りに期待して下さい。そして、もしよかったら今年の恋の三社巡りに参加して下さい。

ローターアクトクラブよりお知らせ

・4月3日(火) (通算第283回) 点鐘 19:30
 場 所: 名古屋ガーデンパレス
 メインテーマ: 海外研修報告会
 担 当: 国際奉仕委員会

◆卓話“裁判の話”

会員 西川豊長君



「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律(裁判員法)が平成16年5月18日に公布され、平成21年5月までの間にスタートします。

この制度は、国民が刑事裁判に参加して、被告人が有罪かどうか、有罪の場合にどのような刑にするかを裁判官と一緒に決めるので「国民の司法参加」が実現することになります。裁判員は6人、裁判官は3人が原則です。裁判員は選挙人名簿からくじで選ばれます。こうして裁判は国民に身近なものになって参りました。

刑事事件は捜査機関(警察や検察官など)が証拠の収集など捜査をし検察官が起訴・不起訴を決めます。起訴されると裁判所で公判手続に入り証拠調をして判決ということになります。

裁判というのはもとは王様が一方的に人民を裁く糾問的なものですが近代国家では検察官と被告人・弁護人が相対する対審構造をとり裁判官が判決即ちジャッジをするという形をとり反対尋問(交互尋問)により法定で白熱したりします。

アメリカでは、当事者主義が徹底し、裁判官はアンパイヤーで裁判はゲームですが日本の裁判はアレイメントとか司法取引はなく、国民の信頼のため裁判所がきちっと証拠調をして判決をします。

裁判官は判決をするに当たり、事実認定と法律判断という作業をします。法律に認定した事実をあてはめるといふあてはめ作用をしこれを判決三段論法といいます。その際、結論(判決)を導き出す基準として、法的安定性と具体的妥当性という二つの要素の微妙なバランスを考慮します。

英米法ではリーズナブルマン(合理人とか平均人)を基準にしています。重大事件は合議体で審理します。主任裁判官というのが決められていて右陪席と左陪席がそれぞれ受持ち裁判記録は裁判長と主任裁判官が読み、主任裁判官が判決原案を起案します。合議をするに当っては主任裁判官でない裁判官はふつう記録を読みませんが、記録を離れて鋭い質問を主任裁判官に投げかけ主任裁判官はそれに答えなくてはならないことがあります。裁判員制度がスタートしたらどのようなか甚だ興味深いところでもあります。

◆ニコボックスは次回掲載させていただきます。

次回例会

平成19年3月27日(火)

友愛の日